



神奈川ネットワーク運動・鎌倉

まちづくりレポートミニ版 132号

三宅 まり

発行/2014年3月31日

発行責任:三宅真里

〒247-0056

鎌倉市大船 3-3-15

TEL/FAX 0467-42-8636

鎌倉市議会議員

観光厚生常任委員長

カンパとボランティアで活動/ 問題解決はミニフォーラムで/毎月第2土曜は市政サロン開催

子育て支援の提案実現



実現 おさか子ども会館開設 ～2012年6月一般質問で提案～

3月1日、小坂小学校の向いに「おさか子ども会館」がオープンしました。大船第2子ども会館の傾きを指摘したことから、保護者はじめ地域の皆さんの熱心な働きかけがあり、旧北鎌倉美術館の買取りが決定し、まず子どもの家（学童保育）を先行して開設していました。これまで小坂小学校区の子どもたちは、大船小学校区にある子ども会館まで行かなければなりませんでしたが、地域の長年の要望がようやくかない「子ども会館・子どもの家」として整備できました。

オープン初日、早速小学生はじめ親子連れが訪れ、にぎわいの中にも穏やかな雰囲気を感じられ、良いスタートが切れました。今後は、子どもたちだけではなく、多世代が交流できる地域の拠点として活用できるよう、運用面での工夫が必要です。

実現 岡本保育園建て替えて一時保育・子育て支援センター併設へ

～2013年6月一般質問で問題提起～

昨年、サーモコンクリートを使用していた岡本保育園の耐震診断の結果、耐震性に欠き、建替えが必要とされました。建替えは、同規模の施設を建設予定との答弁だったことから、待機児童対策として受入定数の増加や複合化を主張してきました。その結果、子育て支援センターの併設と保育園の定員数増及び一時預かりを実施することになりました。建替えまでの間、近隣住民の協力で玉縄児童遊園にプレハブを建てての保育になります。また、フラワーセンター苗ほ跡地の民間園建設も進めていきます。

職員の地域手当始め給与の体系的見直しを

神奈川ネットではこれまで職員の地域手当地域手当（基本給と扶養手当・管理職手当の合算額に支給率を乗じる）を問題にしてきました。地域手当は、民間賃金の高い地域に勤務する国家公務員に適用されるものとして制度化され、自治体にも準用されています。鎌倉市は15%の高水準ですが、財源不足の理由で今年7月まで暫定的に12%に引き下げていました。8月以降、元の支給率に戻すのは、民間の給与水準が回復したとは言えない社会状況に配慮すれば、市民感覚とはかけ離れています。国でも見直しを検討しているようですが、鎌倉市では市の情勢を鑑みた支給率の縮減を行なうことができるよう、給与体系の抜本的な見直しが必要と考え、「鎌倉市職員給与の削減を求める決議」を他会派と共同提案し可決しました。

市長が提案した、家庭系ごみの有料化に向けての条例は、神奈川ネット始め諸会派に加え、顧問弁護士にも地方自治法違反を指摘され、条例撤回に至りました。これにより2014年度予算を訂正して再提案しました。神奈川ネットは訂正予算に賛成しましたが、ごみ問題では引き続き市長を牽制していきます。

ごみ問題は、動議を出し弁護士の見解を求めて鋭く追及した保坂れい子のレポートで！